

足音

五月六日
石巻中一年
学年通信 No. 九

編集・発行
鈴木 孝明

次の一步

四月を終え、中学校の日常に少しずつ慣れてきましたか。

授業についても各教科、本格的にスタートしています。教科によって先生が変わる教科担任制にも慣れましたか。

せっかく各教科の専門の先生たちがいるわけですので、遠慮せずにはわからないことはどんどん質問して、「わからないまま、をつくらないこと」を心掛けていきましょう。

私自身、国語の授業を担当していますが、どのクラスも授業に対して前向きな姿勢をひしひしと感じています。すばらしいことです。自分の考えを声に出すこと。仲間の考えに耳を傾けること。それらを合わせて、共通の答えを導き出すことが数多くあり、みんなとても良い雰囲気を取り組めて



いるなど感じます。全クラス、良い雰囲気での授業に、さらに磨きをかけていきましょう。

そこで、あらためて自分自身を振り返ってほしいのは、「あたりまえ」ができているかということ。この「あたりまえ」は四月当初からのキーワードとも言えます。授業における「あたりまえ」は何か。自分の中にありますか。

一つあげるならば、授業の準備。十分放課のうちに机の上に次の時間で使う用具がきちんと置くことができているか。残念ながら、ちょっとした気の緩みからか、準備が完全ではなく、授業中に用具を取りに行く、なんていう姿を少し見かけます。これは、やめましょう。少しの意識のもち方、時間の使い方を変えることですぐに直せるはずです。こういう「あたりまえ」を着実に積み上げていくことこそ、学力の土台を築いていくことにつながります。

そして、今日からテスト週間です。中学校に入って初めてのテスト週間となります。大事なデビュー戦です。

まず取り組まなければならないのが、各教科の提出物。五月二日に配付されたテスト範囲表には、どの教科で、何を、いつ、どこまでやらなければならないかが明記されています。それらを見て、今日からの一週間の学習計画を立てなければなりません。テストの提出物の期限内提出は、いわばテストの「あたりまえ」です。提出することを「あたりまえ」にやった先に、

ようやく、自分の学力を伸ばすための勉強があります。もちろん、提出物をやっている最中も大切な学習の時間ですが、その一回きりでは、正直なかなか点数には結びつきません。課題はそのまま出題範囲である、ということに常に意識して、一回終わったらもう一回、さらにテスト直前にもう一回と、繰り返し学習できるのが理想です。できればそれを自分の「あたりまえ」にしてほしいところ。ぜひチャレンジしてみてください。

野外を終え、その他各種行事もひと段落し、次に踏み出すべき一步は何か。もう明らかですね。

勉強です。中学生の最重要課題です。

野外は、みんなで踏み出した一步でした。

勉強は、自分一人で踏み出す一步です。自分に厳しさをもち、その一步が、先の自分の「進路」につながると信じ、一人、テスト勉強に打ち込んでみましょう。

☆ テスト週間中の学習会について

テスト週間中の五月九日(月)と一日(水)の授業後(16時30分まで)に学習会が行われます。各教科で質問がある人は、帰りの会後に残り、教科の先生に質問ができます。希望参加です。希望者は学年室前の名簿に○をつけておきましょう。